

# タイトル：LINE認証済アカウントの審査基準と申請時に注意すべき4つのポイント



(画像ファイル名：line\_examination\_top)

LINEは、日本国内で月間8,900万人を超える人が利用しているコミュニケーションツールです。（※2021年6月末時点）

一般のユーザーに向けてアプローチするのであれば、活用しない手はありません。本記事では、LINE公式アカウントの審査の概要を解説します。

申請をスムーズにおこなうためにも、ぜひ最後までお読みください。

## [目次]

<b>LINE認証済アカウントとは</b>	<b>2</b>
LINE公式アカウントは2種類	3
LINE公式アカウントの審査基準	5
<b>LINE公式アカウントで開設できないサービス・業種一覧</b>	<b>5</b>
<b>LINE認証済アカウントの申請方法は2つ</b>	<b>6</b>
方法1. LINE公式アカウントの開設時	6
方法2. 未認証アカウントからの変更時	8
<b>LINE認証済アカウントの申請で注意すべき4つのポイント</b>	<b>10</b>
ポイント1. アカウントの基本情報	11
ポイント2. 店舗/施設情報	12

ポイント3. 会社情報	15
ポイント4. 申し込み者情報	16
まとめ	18

## LINE認証済アカウントとは



(画像ファイル名：line-examination\_1)

### LINE公式アカウントとは

企業・店舗・個人などが、ユーザーへ向け最新情報やクーポンなどを配信できるアカウント

LINEで企業や店舗からユーザーへ直に情報を発信できるアカウントが、LINE公式アカウントです。

LINE公式アカウントで使える無料の機能には、下記の6つがあります。

1. **メッセージ配信**：友だち追加したユーザーにメッセージを送信
2. **チャット機能**：ユーザーからの問い合わせにチャット回答

3. **リッチメニュー**：トーク画面下部に画像とともに表示されるメニュー
4. **LINE VOOM投稿**：ユーザーのLINE VOOMに情報を投稿
5. **販促機能**：クーポンやポイントカードなどを配信
6. **LINEコール**：ユーザーと無料で通話・ビデオ通話

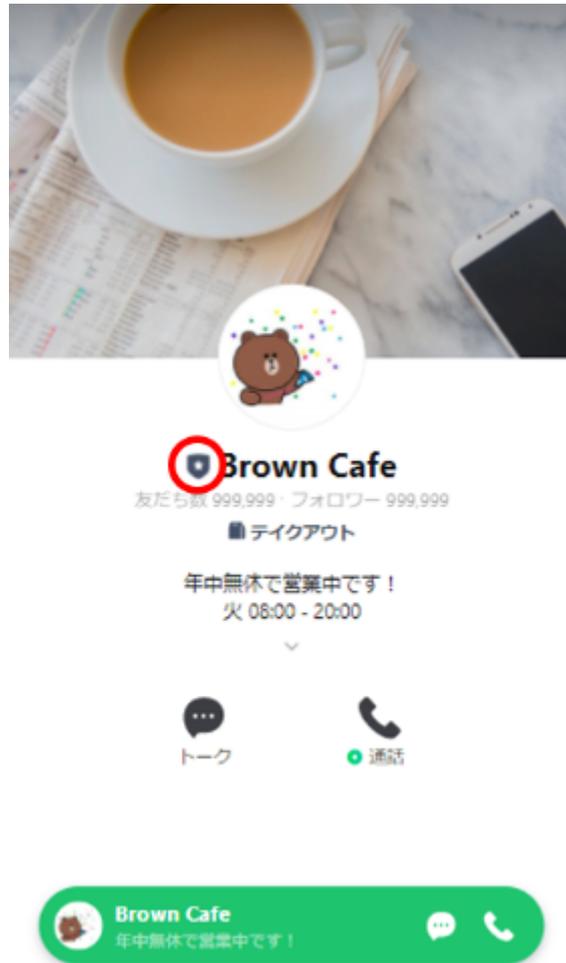
上記のように、ユーザーと直接コミュニケーションを図るために便利な機能が用意されています。

ユーザーの反応に合わせた柔軟な販促活動を、低コストで実現できる点がメリットです。また、企業や店舗だけでなく、個人でもアカウント開設できることも特徴です。

## LINE公式アカウントは2種類

種類	概要
認証済アカウント	LINEの審査を通過した企業や店舗などのアカウント
未認証アカウント	個人・法人を問わず、審査なしで作成できるアカウント

LINE公式アカウントは、上記の2種類です。LINEの審査を通過することで、下記のようなアカウントバッジが付与されます。



(画像ファイル名：line-examination\_2)

画像引用：[LINE for Business](#)

アカウントバッジが表示されることで、ひと目で公式アカウントと判断できます。そのため、ユーザーが安心して友だち追加できるようになります。

認証済アカウントの特典は、以下の4つです。

1. 認証済アカウントの青色バッジが付与される
2. 友だち検索結果に表示される
3. 販促用の無料ポスターや有料ノベルティを入手できる
4. 料金の支払い方法にクレジットカードと後払い決済が利用できる

日常生活に馴染みのあるSNSは、サービスサイトの会員登録とは違い気軽に友だち追加しやすいツールです。

未認証アカウントでももちろん活用はできますが、認知度アップや集客に役立つ特典により、ビジネス活用しやすくなっています。

## LINE公式アカウントの審査基準

LINE公式アカウントの審査基準は、以下の通りです。

1. LINEユーザーの不利益につながる可能性がないか
2. 法令における規制の有無と規制内容に抵触するものでないか
3. 利用規約第18条「禁止行為」各号に該当するおそれがないか
4. 当社が独自に定める審査基準を満たすか否か
5. 当社の事業へ悪影響を及ぼす、あるいは当社の信用を損なうものでないか

引用：[LINE for Business](#)

LINEからは、詳細な審査基準について明かされていません。

前提として、ユーザーにとって不利益につながるコンテンツを発信しないことや、モラルを守れることが条件です。

審査にかかる時間は、通常10日前後です（土日祝日を除く）。審査の結果は、メールにて通知されます。

## LINE公式アカウントで開設できないサービス・業種一覧

種類	解説できないケース
出会い系	<ul style="list-style-type: none"><li>● 街コンイベント会社</li><li>● 相席居酒屋</li><li>● 出会いパーティー</li><li>● ライブチャット</li><li>● インターネット異性紹介事業</li></ul>
アダルト系	<ul style="list-style-type: none"><li>● 性風俗店</li><li>● メンズエステ</li><li>● アダルトショップ</li><li>● ストリップ劇場</li><li>● 膝枕耳かき店</li><li>● JKビジネス</li></ul>
連鎖販売取引	<ul style="list-style-type: none"><li>● ねずみ講</li><li>● マルチ商法・MLM</li><li>● ネットワークビジネス</li></ul>
販売方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 人間の不安・不幸・射幸心につけ込んで商品等を販売するもの</li><li>● 違法な営業方法で商品等を販売するもの</li><li>● 科学的な根拠に欠ける商品等を販売するもの</li></ul>

LINE公式アカウントは、どんな業種でも開設できるわけではありません。上記のように、開設できない場合があります。

開設できないサービス・業種に該当すると、下記の対応がされます。

- 認証済アカウントが承認されない
- LINE公式アカウントが停止される

一般的なビジネスをおこなっている企業であれば、心配する必要はありません。ですが念のため、申請時に誤解される表現をしないよう注意しましょう。

## LINE認証済アカウントの申請方法は

LINE認証済アカウントの申請は、以下2つの方法があります。

1. LINE公式アカウントの開設時
2. 未認証アカウントからの変更時

それぞれについて解説します。

### 方法1. LINE公式アカウントの開設時



(画像ファイル名：line-examination\_3)

1つ目は、LINE公式アカウントを開設する際に申請する方法です。以下の手順で申請をおこないます。

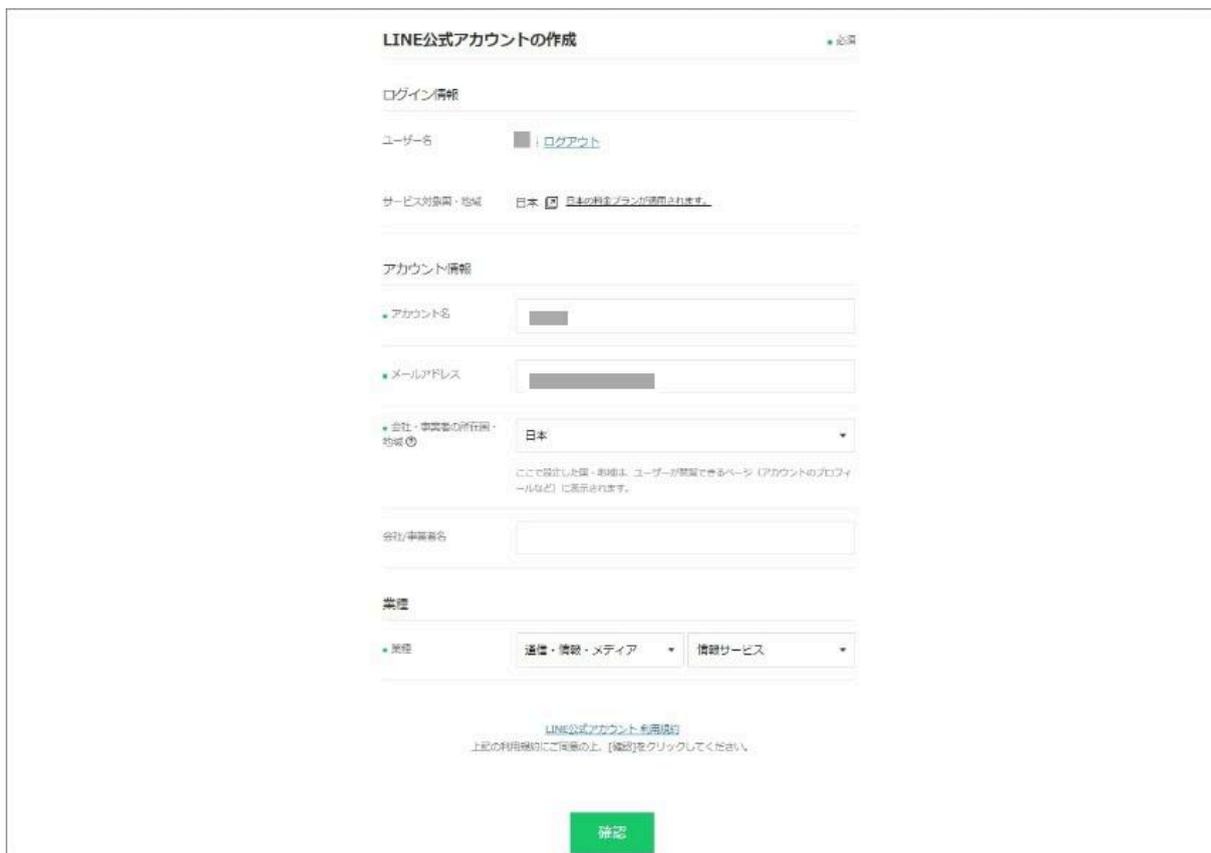
1. LINE Official Account Managerへアクセスする
2. 「アカウント認証をリクエスト」を選択する
3. 必要事項を入力する

では、画像と一緒に解説していきます。

まずは「LINE Official Account Manager (<https://www.linebiz.com/jp/signup/>)」へアクセスします。

公式アカウントの作成画面が表示されるので、下記の必要事項を記入しましょう。

- ユーザー名（自動入力）
- アカウント名
- メールアドレス
- 会社・事業者の所在国・地域
- 会社/事業者名（任意）
- 業種（大カテゴリ・小カテゴリ）



The image shows a screenshot of the 'LINE Official Account Creation' form. The form is titled 'LINE公式アカウントの作成' and includes several sections:

- ログイン情報**: Includes a 'ユーザー名' field with a 'ログアウト' button and a 'サービス対象国・地域' dropdown set to '日本'.
- アカウント情報**: Includes 'アカウント名', 'メールアドレス', and '会社・事業者の所在国・地域' dropdown set to '日本'. A note below states: 'ここで設定した国・地域は、ユーザーが閲覧できるページ（アカウントのプロフィールなど）に表示されます。'
- 会社/事業者名**: A text input field.
- 業種**: Includes a '業種' dropdown set to '通信・情報・メディア' and a '情報サービス' dropdown.

At the bottom, there is a green '確認' button and a note: 'LINE公式アカウント利用規約 上記の利用規約にご同意の上、[確認]をクリックしてください。'

(画像ファイル名：line-examination\_4)

入力が完了したら「確認」をクリックすれば、LINE公式アカウントが作成されます。

認証済アカウント認証を申請するには、画面下に表示された「アカウント認証をリクエストする」をクリックします。



(画像ファイル名：line-examination\_5)

以上で、LINE公式アカウント開設時における認証済アカウントの申請は完了です。（認証済アカウントの申請フォームについては、[こちら](#)で解説します）

## 方法2. 未認証アカウントからの変更時

すでにLINE公式アカウントを開設している場合は、下記の手順で申請します。

### Web版の場合

1. 管理画面から該当のアカウントを選択
2. アカウトトップページ>[設定]（画面右上の歯車マーク）>[アカウント設定]をタップ
3. 「情報の公開」の[アカウント認証をリクエスト]をタップ
4. 必要な情報を入力

### アプリ版の場合

1. [ホーム]>[設定]>[アカウント]をタップ
2. 「情報の公開」の[認証ステータス]をタップ
3. [アカウント認証をリクエスト]をタップ
4. 必要な情報を入力

Web版とアプリ版での操作は、ほとんど同じです。ここでは、Web版の手順を解説します。

まずは、管理画面 (<https://manager.line.biz/>) を開き、ログインします。



(画像ファイル名：line-examination\_6)

申請するアカウントを選択し、アカウントトップページへ移動します。



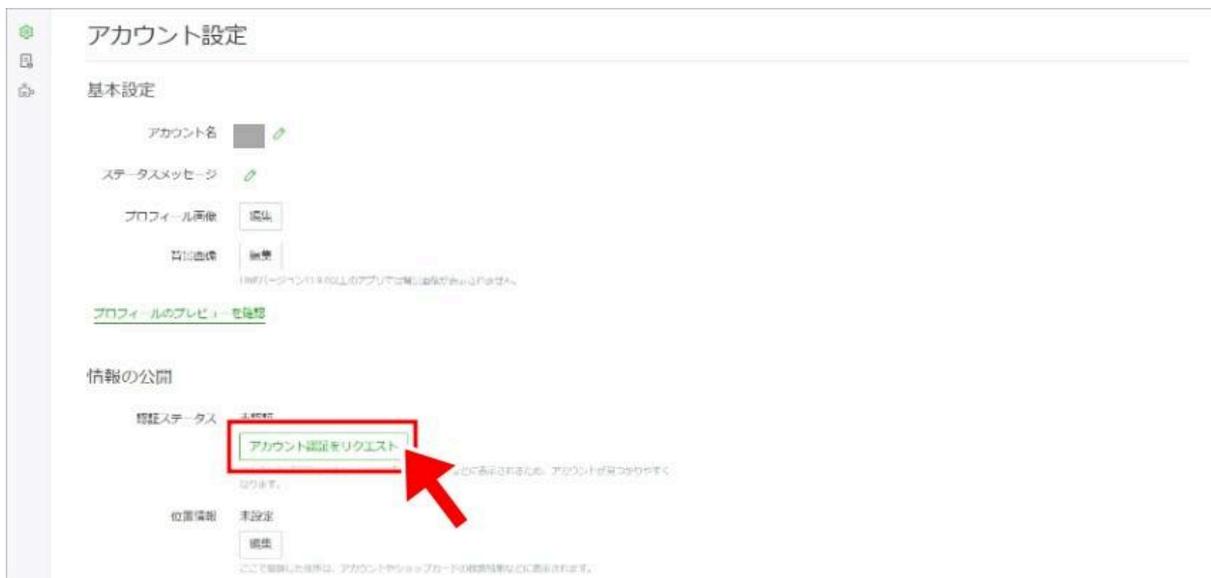
(画像ファイル名：line-examination\_7)

画面右上の「アカウント設定（歯車マーク）」をタップします。



(画像ファイル名：line-examination\_8)

「情報の公開」のなかにある「アカウント認証をリクエスト」を選択すれば、LINE認証済アカウントの申請画面へ移動します。



(画像ファイル名：line-examination\_9)

では次で、申請時の入力内容を確認してきましょう。

## LINE認証済アカウントの申請で注意すべき4つのポイント

申請の際には、以下の注意が必要です。

1. アカウントの基本情報
2. 店舗/施設情報
3. 会社情報
4. 申し込み者情報

申し込みフォームの情報に不備があると、認証済アカウントを取得できません。再申請の手間を省くためにも、事前に確認しておきましょう。

では、1つずつ解説します。

## ポイント1. アカウントの基本情報

項目	ポイント
アカウント名 (企業名・店舗名・サービス名・商品名など)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 20文字以内</li><li>● 個人名は不可</li><li>● 申し込み後の変更は不可</li><li>● 友だち検索に利用する「LINE ID」とは異なる</li></ul>
業種	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大業種・小業種で該当するものを選択</li></ul>
申し込みタイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>● タブから該当するものを選択</li></ul>

「アカウント名」は、友だち一覧やトーク画面に表示される、アカウントの名前です。アカウント名のよくあるミスとしては、以下の2つが挙げられます。

### 1. URLの一部などを記載

例) × : 「axiscorp.com」 ○ : 「株式会社AXIS」

### 2. アカウント名とIDの誤認

例) × : 「axis\_koko」 ○ : 「AXIS高等学校」

ユーザーが目にしたときに、どんなサービスを提供するアカウントかイメージしやすい名前がおすすです。

## ▼アカウント情報の入力フォーム

1 会社/店舗情報を登録

2 入力内容の確認

3 申し込み完了

[あとで認証を行う（管理画面に移動）](#)

### 認証済アカウントのお申込み ● 必須

[【LINE公式アカウント】認証済みアカウントを申請する時の注意点](#)

#### アカウント情報

サービス対象国・地域

アカウント名

認証済アカウントでは、個人名や個人を特定しやすいアカウント名はご利用できません。

● 会社・事業者の所在国・地域 ②

ここで設定した国・地域は、ユーザーが閲覧できるページ（アカウントのプロフィールなど）に表示されます。

#### 業種・申し込みタイプ

● 業種 ②

● 申し込みタイプ ②

（画像ファイル名：line-examination\_10）

「業種」と「申し込みタイプ」は、プルダウンから選択します。それぞれ当てはまるもの、もしくは近いものを選びましょう。

「申し込みタイプ」で選択した内容に合わせて、次の「店舗/施設情報」で入力する内容が変わります。

## ポイント2. 店舗/施設情報

m項目	ポイント
店舗・施設名	● 50文字以内

（企業名・店舗名・サービス名など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗の名称で作成する場合は、該当店舗の情報</li> <li>● 同じ名称で複数の店舗がある場合、代表となる店舗の情報を入力</li> </ul>
住所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵便番号・都道府県・市区町村・丁目・番地・号</li> <li>● 全角で入力（英数字は半角）</li> </ul>
店舗の電話番号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 半角の英数字で入力</li> </ul>
URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Webサイトや各種SNSなどのURL</li> <li>● 外部の情報サイトや予約サイトなどもOK</li> </ul>

前述の通り「申し込みタイプ」で選択した内容に合わせて、入力する店舗や施設の情報異なります。

「店舗/施設情報」で入力するのは、主に下記の2タイプです。

1. 店舗・施設の住所・電話やホームページ情報
2. メディアやサービスのWebサイト情報

店舗や施設の入力では、とくに住所の全角と半角の違いに注意が必要です。

気がつかないうちに、番地を全角で入力してしまうケースがあるので、英数字は半角で入力しましょう。

#### ▼店舗/施設情報の入力フォーム

## 店舗/施設情報 ②

● 必須

● 店舗/施設名

50文字以内

● 郵便番号

半角数字

検索

● 都道府県

選択してください。

● 市区町村

市区町村（全角） 例：新宿区新宿

● 丁目・番地・号

丁目・番地・号（英数字は半角） 例：1-1-1

建物名

例：△△タワー1階

● 店舗電話番号 ②

半角数字 例：03-1234-5678

● URL ②

ホームページやSNS、情報掲載ページなどのURL

（画像ファイル名：line-examination\_11）

また「URL」の項目は、審査の参考として必要なため、店舗の情報が確認できるURLを記載してください。

メディアやサービスのWebサイト情報は、下記の入力フォームになります。

### ▼メディアの入力フォーム

**店舗/施設情報** ● 必須

---

● メディア名

---

● URL ?

---

(画像ファイル名：line-examination\_12)

うっかり自社の別サイトのURLを入力してしまわないよう、間違いがないかよく確認しましょう。

### ポイント3. 会社情報

項目	ポイント
会社/事業者名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全角で入力</li> </ul>
住所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵便番号、都道府県、市区町村、丁目・番地・号、代表電話番号</li> <li>● 全角で入力（英数字は半角）</li> </ul>

「店舗/施設情報」の入力ですでに会社情報を登録しているのであれば「店舗情報をコピーする」ボタンを押せば自動で入力ができます。

## 会社情報 ● 必須

店舗情報をコピーする

---

● 会社/事業者名

---

● 郵便番号

---

● 都道府県

---

● 市区町村

---

● 丁目・番地・号

---

建物名

---

代表電話番号

---

会社/事業者URL

---

（画像ファイル名：line-examination\_13）

店舗と会社で情報が違う場合は、あらためて入力してください。

### ポイント4. 申し込み者情報

項目	ポイント
申し込み者氏名、申し込み者フリガナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申込担当者のフルネームを入力</li> </ul>
連絡先電話番号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申し込みをした担当者の連絡先を入力</li> </ul>
メールアドレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 審査結果を通知するメールアドレスを入力</li> <li>● 携帯キャリアのメールアドレスは不可</li> </ul>

上記は、本人確認の際に必要な情報です。「申し込み者氏名」では、下記に注意が必要です。

1. 個人名以外の文言を入力
  - ×：「LINE株式会社」「LINE美容室」
  - ：「山田太郎」「佐藤花子」などの担当者名
2. フルネームを入力していない
  - ×：「Taro」「佐藤」
  - ：「山田太郎」「佐藤花子」などフルネーム表記

### ▼申込者情報の入力フォーム

#### 申込者情報 ? ● 必須

● 申込者氏名	フルネームでご記入ください。例：LINE 太郎
● 申込者フリガナ	フルネームでご記入ください。例：ラインタロウ
申込者所属部署	全角
● 連絡先電話番号 <span>?</span>	半角数字 例：03-1234-5678
● メールアドレス <span>?</span>	

[LINE公式アカウント 利用規約](#)  
上記の利用規約にご同意の上、[確認]をクリックしてください。

**確認**

(画像ファイル名：line-examination\_14)

また、メールアドレスは、携帯キャリアのメールアドレスは使えません。GmailやYahoo!メールなどのフリーメールはOKなので、必要に応じて検討しましょう。

## まとめ



(画像ファイル名：line-examination\_15)

あらためて、本記事についてまとめます。

- LINE公式アカウントの種類は、認証済アカウント・未認証アカウントの2つ
- LINE公式アカウント開設時に申請する
- 未認証アカウントからの変更も可能
- 申請は、企業や店舗・Webサイト情報などを入力するだけでOK

認証済アカウントの審査が通れば、低コストでユーザーへ直接アプローチしやすくなります。

ぜひ、自社のビジネス集客に活用していきましょう。

また、LINE広告の詳細については、下記の記事で詳しく解説しています。BtoC事業を強化するためにも、ぜひ参考にしてください。

>>関連記事：[LINE広告の設定方法とPDCAの回し方](#)